

多くの方からのメール等の一部を要約等してご紹介いたします。

Aさん（一陸技受験）

業務の都合上、一陸技の取得が必要となり、ブログを拝見しました。一陸技取得を目指すにあたり、「ねらいどころ」を活用させていただき各試験科目の勉強に役立てたいと考えています。

Bさん（二陸技受験）

平成20年1月期の二陸技において、「無線工学の基礎」と「法規」の科目合格ができました。この2科目のみに重点をおいて「ねらいどころ」の資料を購入させていただき勉強していたので、合格することができ非常に嬉しかったです。

初めての二陸技のチャレンジで、このブログも偶然知ったのですが、実際にアップされた「ねらいどころ」の資料を購入し試験に挑むと、ランクの高いところの類似問題が、期待した以上に出題されておりすごい研究をされてるなあ。と、ビックリしました。

また、次回もぜひ購入したいと思います。報告が遅くなりましたが、本当にありがとうございました。

Cさん（一陸特受験）（2008年10月上旬メール受付）

今月の一陸特の試験を受ける者です。本ブログを拝見し、一陸特（無線工学）の公開を待っているのですが、いつ頃完成予定でしょうか。公開日がわかりましたら教えていただけたら幸いです。

（返信）

メール有難うございます。大変遅くなり申し訳ありませんでした。ただいま一陸特（無線工学）のねらいどころが完成し、公開しました。では、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Dさん（一陸特受験）（2008年10月上旬メール受付）

はじめまして。今月の一陸特試験のねらいどころは、販売されないのでしょうか？

（返信）

メール有難うございます。大変遅くなり申し訳ありませんでした。ただいま一陸特（無線工学）のねらいどころが完成し、公開しました。では、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Eさん（陸上無線技術士受験）（2008年10月上旬メール受付）

はじめまして、HPを拝見いたしました。来年1月期の試験では絶対に合格を勝ち取りたく購入を考えております。いつごろ作成完了の予定でしょうか。

（返信）

メール有難うございます。来年1月期の一陸技・二陸技の「ねらいどころ」については、本年11月下旬から12月中旬をメドに作成する予定で考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Fさん（一陸技受験）（2008年11月中旬メール受付）

前回「法規」に合格しておりますが、今回「無線工学の基礎」にチャレンジします。「ねらいどころ」を購入しますのでお願いいたします。

（返信）

メール有難うございます。ただいま平成21年1月期の一陸技「無線工学の基礎」のねらいどころを作成しています。もうしばらくお待ちください。

無線従事者国家試験研究室

Gさん（一陸技受験）（2008年11月下旬メール受付）

第一級陸上無線技術士資格の勉強方法をいかにすればいいのかご質問します。そのためにも、まず2009年1月期の「無線工学の基礎」に合格できるようにと思っています。そして、2009年7月期に「無線工学A」のみ、2010年1月期「無線工学B」合格というような方法。または、2009年1月期「無線工学の基礎」に合格、2009年7月期「無線工学A」「無線工学B」に合格。という方法。どちらが勉強方法としていいのでしょうか。

（返信）

メール有難うございます。

ところで、ご質問の件ですが、

第1級陸上無線技術士資格の攻略手法は、ブログの「無線従事者国家試験の攻略手法（曾根式）」を見ていただければと思います。

さらに、追加として申します。

基礎固めとして、2009年1月の「無線工学の基礎」を目指すことは必要であります。その後は、仮に「無線工学の基礎」が不合格の場合であっても、2009年7月は、日程が「無線工学の基礎」と「無線工学A」または「無線工学B」は違いますので、「無線工学

の基礎」は必ず受けてください。その場合、「無線工学 A」または「無線工学 B」をどちらを先に受験するかですが、一定の基礎力が「無線工学の基礎」等の勉強でできていると思いますので、ねらいどころで強調したところがでたり、また多肢選択式のテクニックが生かされれば、どちらの科目が難しいというものではないと思います。

ですから、最初の、「無線工学 A」または「無線工学 B」のチャレンジにおいては、どちらかを重点的に勉強され、そうでない科目は、少し絞りこんで勉強時間を軽減するという方法がいいのではないのでしょうか。

とにかく、「無線工学 A」または「無線工学 B」の試験日は、同じ日ですから、どちらかを早く科目合格することがポイントです。

以上、私なりの考えですが、参考にしてください。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

H さん（二陸技受験）（2008年12月上旬メール受付）

はじめまして。

二陸技「無線工学 B」の資格を目指しております。

試験の際は利用させていただいており、いつも素晴らしい的中率に感激させられています。

年末を前にお忙しいことと思いますが、どうか一日も早い狙いどころを期待しております。

（返信）

メール有難うございます。

作成が大変遅くなり、申し訳ありません。

メールをいただき感激しております。早く二陸技 B を仕上げます。

拙い内容ですが、少しでもお役に立つことができれば幸いです。

無線従事者国家試験研究室

前出の G さん（一陸技受験）（2008年12月上旬メール受付）

メールどうもありがとうございました。

第1級陸上無線技術士の無線工学の基礎について、そしてその後の無線工学 A、無線工学 B の勉強方法と1月に無線工学の基礎が仮に不合格の場合についてご意見ありがとうございます。2009年1月の国家試験でのねらいどころの配信については前回と同じように振り込めばよいのかと思いメールしました。

また現在の第1級陸上無線技術士「無線工学の基礎」は下記のとおり勉強しています。

「略」

以上が私の勉強計画ですが仕事との調整がなかなか取れず先に進まない分もただあります。

(返信)

メール有難うございます。

さて、ご質問の振込みの件ですが、ブログの所定の申し込みリンクから入っていただき、後は銀行振込みにおいてもその指示に沿って行ってください。

一方、勉強方法については、申し分ないぐらいだと思います。もちろん、ねらいどころの重要度ランクの強弱に合わせて、問題を理解して行ってください。ただ、お仕事との関係で予定通り進むかどうかですね。でも、あせることはありませんよ。試験前日に勉強した問題の類似が試験にでるかもしれないのです。健康で試験に臨めれば幸いと思ってマイペースで勉強すればいいのですよ。

さらに、ねらいどころの付録にある「多肢選択式テクニック」もここだというときに使ってみてください。合格に向けて大いにお役に立つと思います。
※北京オリンピックで優勝した女子ソフトボールの監督が、事前に相手の投手の投げ方の癖を調べて、球種がわかったというニュースを聞きました。それを試合に活かして優勝しました。このようにテクニックも謙虚さを持って対応すれば一つの大きな力になりますよ。

※なお、早めにインフルエンザの予防注射をしていたほうが、受験のための危機管理として、いいのではないのでしょうか。

では、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Iさん（二陸技受験）（2009年1月上旬メール受付）

はじめまして

質問なんですけど、今回二陸技を受けようと思います。

そこでなんですけど、無線工学Aと無線工学Bは、ねらいどころはないのでしょうか？
よろしくお祈いします。

(返信)

メール有難うございます。

二陸技無線工学 A・B については、大変遅れていますが、本日中にブログにアップする予定です。

遅くなり申し訳ありません。よろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

J さん（二陸技受験）（2009年5月上旬メール受付）

以前もメールしました者です。

平成21年度7月期、「二陸技 工学 B」の完成をお待ちしております。

まだ試験勉強ができておらず少し焦っています。これから二ヶ月頑張りますので、よろしくお願い致します。

（返信）

ご返事が遅くなり申し訳ありません。

メールをいただき大変恐縮です。

今後とも「ねらいどころ」頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

教えているある学校の学生ですが、昨年教えた学生に聞くと、この春二陸技完全合格したと言われました。

焦らないで、今日やった問題が明日の試験にできればいいのですから、健康管理は気をつけて、挑戦してみてくださいね。

では、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

K さん（二陸技受験）（2009年5月上旬メール受付）

こんばんは、先月29日に電話した者です。突然の電話失礼いたしました。

ところで、無線工学 A の勉強法です。今は無線工学 A についての参考書と FM 入門の書籍を使っていますが、独学で勉強しているので、一つつまずくとなかなか先に進みません。何か効率良く進める方法があれば教えていただければ幸いです。

最後になりましたが私は転職の為に勉強しています。法規を19年1月に合格したので、来年1月までに取れるように頑張っています。よろしくお願い致します。

（返信）

ご返事が遅くなり申し訳ありません。

メールをいただき大変恐縮です。

今度の7月期の二陸技「無線工学 A と B」のねらいどころは、今準備中です。なお、ブログにも明記しておりますように7月期のねらいどころが完成しましたら、前回の試験以後に所定のねらいどころを購入された方には、7月期のねらいどころを無料でお送りいた

します。

ところで、勉強の仕方ですが、最も重要なことは自分にあったやり方が一番だと思います。ただ直球で行くのも大変だと思いますね。試験は試験として割り切っていくことも一つのやり方ではないでしょうか。まず全体のイメージから入って行って、ときには「たとえ」で理解することもいいのかもしれませんが。「絵ときシリーズ」の書籍等はイメージをつかむのにいいかもしれません。そして、覚えこむのは、試験前にしようと思って、日ごろの勉強は覚えやすい作業（アンダーラインや見出しを付けるとか・・・）をすることいいと割り切ってもどうでしょうか。時には理解できないものがあったとしても気にしないで、いずれ試験前に記憶しようと思っただけつけておくぐらいのことも。

今日やった問題が明日の試験にできればいいのですから。健康管理だけは気をつけて、挑戦してみてくださいね。

では、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

無線従事者国家試験研究室

Lさん（一陸技受験）（2009年5月上旬メール受付）

私は年齢がいつているのですが、一陸技の受験合格を目指しています。今年1月は残念ながら、法規のみ合格で後は落としてしまいました。この失敗から次回は確実に合格できるように精度をより上げたいと思っています。「ねらいどころ」に期待していますが、いづろ購入できますか。よろしくお願ひします。

（返信）

メールいただき大変恐縮です。有難うございます。

受験に対する熱意、大変感銘いたします。私はどんな試験も「やる気」「基礎力」「傾向対策」だと思います。

一陸技のねらいどころは、6月になると思いますが。逐次完成した科目から出していきたいと考えています。なお、非常勤で教えている学校で、一陸技がこの春在校生と卒業生が完全合格してくれました。

ところで、勉強の仕方ですが、最も重要なことは自分にあったやり方が一番だと思います。ただ直球で行くのも大変だと思います。重箱の隅をつつくぐらいのところが出たりもしますから。

試験は試験として割り切っていくことも一つのやり方ではないでしょうか。まず全体のイメージから入って行って、ときには「たとえ」で理解することもいいのかもしれませんが。「絵ときシリーズ」の書籍等はイメージをつかむのにいいかもしれません。そして、覚えこむのは、試験前にしようと思って、日ごろの勉強は覚えやすい作業（アンダーラインや見出しを付けるとか・・・）をすることいいと割り切ってもどうでしょうか。時には理解できないものがあったとしても気にしないで、いずれ試験前に記憶しようと思っただけつけ

ておくぐらいのことも。今日やった問題が明日の試験に出ればいいのですから、健康管理だけは大切に、挑戦してみてください。

では、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

無線従事者国家試験研究室

Mさん（一陸技受験）（2009年6月上旬メール受付）

こんにちは。

先日、21年度1月期の一陸技基礎を購入させてもらった者です。

昨日、ブログにて7月期のものについては完成後メールにて送付とのことでしたが、完成はいつぐらいになるのでしょうか？

残りがこの科目だけなので、今回は是非ともとの気持ちで望んでおります。

自分の努力あってのものだと思いますが、ポイントを押さえた勉強は重要であるということも、この試験については感じております。

お忙しいとは思いますが、予定等がわかりましたらお教え頂けるとありがたいです。よろしくお願ひします。

（返信）

平成21年1月期の一陸技基礎のご購入有難うございます。

つきましては、平成21年7月期の一陸技基礎のねらいどころは、今月中旬をメドに完成させる予定です。大変申し訳ありませんが、もうしばらくお待ちください。

まずは、ご連絡まで。

無線従事者国家試験研究室

（Mさんからの返信）

早々のご連絡ありがとうございます。予定の件、了解致しました。

私以外にも、この「ねらいどころ」の資料を心待ちにしている方は思っている以上に多いと思います。お忙しいとは思いますが、充実した資料を作って頂くことを、改めて期待致します。

ご丁寧にご連絡ありがとうございます。引き続きよろしくお願い致します。

Nさん（一陸技受験）（2009年9月上旬メール受付）

はじめまして、ねらいどころを購入したものです。

1級陸上無線技術士のねらいどころの平成21年7月期を購入しましたが、この内容は平成22年1月期の試験に対応していますか。教えてください。

（返信）

メール及びご購入有難うございます。

ブログにも書いていますように、前回の試験後から次の試験までの間に、前回の所定の「ねらいどころ」を購入された方には、次回の「ねらいどころ」を完成しだい無料で添付ファイルでお送りいたします。

それまでは、一つのご参考として前回の「ねらいどころ」を活用してください。重要度に併せた強弱を持った勉強方法として参考になると思います。

無線従事者国家試験研究室

(Nさんからの返信)

回答ありがとうございます。

公式の問題はどう取り組んだらいいですか。教えてください。

(返信)

公式の問題については、もちろん公式を導き出すところまで勉強すればいいのですが、大変ですね。

そこで、多肢選択式テクニックの中のいくつかのテクニックを併用すると少なからず有効ではないかと思います。

また、この国家試験の傾向としては、よく既出問題においてその公式を知っているものとして、数値を与えて解答させる新問がでることもあります。

では、1月は例年でもインフルエンザがはやる時期です。マスク、うがい、手洗い等、体調管理も1科目あると思ってください。(特に人ごみでは、マスクは有効ではと思います。)

またよろしくお願ひ申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Oさん (一陸特受験) (2009年9月上旬メール受付)

突然のメールですみません。少し教えていただけないでしょうか？

仕事の都合で、一陸特の免許が必要になってしまいました。一日も早く、免許取得したいのです。しかし何を重点的に勉強すればよいかもわかりません。私の住んでいるところでは、講習会がないので試験での合格が希望です。

そこで、2009年度10月期の『一陸特』のねらいどころの販売はないでしょうか？教えてください。

(返信)

メールをいただき大変恐縮です。

一般にどの試験の勉強においても私が考えていることは、次のことです。

1. やる気
2. 基礎力
3. 傾向対策

ところで、一陸特について、実力は後からでもつけていくという謙虚さは必要ですが、ズバリ傾向対策でねらっていくことを考えてみました。

書籍は、電気通信振興会の一陸特の問題解答集 1冊です。

解説を見て理解できることは理解しますが、わかりにくいところは、多くの場合キーワードで覚えます。法規なら「変更きたら許可」等、工学のオーバーリーチなら「図において一番長いライン」等、というように。

なお、問題には印等を付けないで、解説かノートにキーワード等を記入します。そして、答もふさいで解答していくときに、間違ったら問題に赤丸、再度間違ったらさらに青丸とかけていくことで、わかりにくい問題をピックアップしていきます。

後は、「ねらいどころ」による強弱を持った皿回し（繰り返し学習＝初めによく回しておいたら後はちょっと回すだけでOKです。）です。

大量にある問題を強弱というリズムで重点的に攻略していくことができるのではないのでしょうか。

なお、一陸特「ねらいどころ」は、準備中です。しばらくお待ちください。申し訳ありません。

では、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Pさん（一陸技受験）（2009年9月上旬メール受付）

始めまして。今回一月にある、一陸技受験目指しているものです。実は、以前2回程、一陸技のヤマ（ねらいどころ）を購入させて頂きました。

一回目購入した時、現在の会社に転職したタイミングで結局試験を断念し、二回目の時は、仕事の関係で断念した経緯があります。

確かに、初めは実務とは直接関わりのない資格と認識していたところもあったのですが、無線を使つての業務が行われており、いろんなメンテ上必要な知識だと再認識した上で、一月にある試験の再度受験を決意いたしました。

今回も、一陸技のヤマ（ねらいどころ）を購入するつもりですが、一月試験の対応版の販売まで、期間があると思うので、率直にお聞きしたいのですが、ねらいどころがでるまでどのような勉強法がいいのか、また、テキスト等でお勧めがあれば、一意見としてぜひお聞かせ願えればと思い、メールいたしました。（まわりに取得している人がいなく情報不足です。）

ちなみに電気通信主任技術者（伝送交換）を取得しており、一陸技（基礎と無線工学 A）の試験を免除するつもりです。

ぜひとも、お忙しいとは思いますが、よろしく願いいたします。

（返信）

メールをいただき大変恐縮です。

仕事で受験できなかったこと残念ですが、それをバネにすれば必ず一陸技は完全合格できると思います。私も昔、試験の2日前に仕事の関係で断念したことがありますが、それをバネにして取得しました。

問題解答集以外のテキストでは、電機大学の1・2陸技受験教室の無線工学 B、法規がいかもしれませんか。また、改訂された電気通信振興会の1陸技無線工学 Bも参考になると思います。

あとは、問題解答集をそのまま問1からするのでなく、傾向表に沿って分野ごとにやっていきます。さらに印等は問題に付けるのではなく、解答の指針のところか、ノートに書いていくことがいいと思います。今は覚えこむのではなく、理解したり、ここは試験前に覚える公式というように整理することでいいと思います。覚えこんでいくのは1月に入ってからでいいです。そのときは、「ねらいどころ」を参考に強弱を入れて覚えこんでいってください。

1月の試験に対しては、例年よりも体調には気をつけてください。いつもなら季節性インフルエンザワクチンをできればしてくださいね。と言っていたのですが。新型対応のワクチンが恐らく希望者全員には無理ですので、健康なときから「のどの洗浄液やマスク」は重要と私は思っています。先日、ビジネス系の研究会で発表した拙い資料（経済学的な切り口でのインフルエンザ対策等も含んだ発表の資料です。）を別のブログ（FS技術関係）に載せています。

では、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Qさん（二陸技受験）（2010年2月下旬電話受付）

「ねらいどころ」で二陸技を完全合格することができました。有難うございました。この資格を利用して就職頑張ります。

（無線従事者国家試験研究室として、非常に感激しました。「今後ともどうぞよろしくお願い致します。頑張ってくださいね。」と電話でお話をしました。）

Rさん（一陸技受験）（2010年2月下旬メール受付）

「ねらいどろ」には大変お世話になっております。
今回の試験で、無線工学AとBの「ねらいどろ」を使用させていただきます。(前回は無線工学の基礎を利用させていただきました。)
平成22年1月期の試験にて第一級陸上無線技術士に完全合格することができました。

21歳にて1通・1技を目指し、途中、挫折があったものの、(恥ずかしながら約20年かかっています。)1技に合格することができたのは「ねらいどろ」にて的確な試験範囲のおかげで、勉強の強弱をつけることができ、ムダなく学習できたことと、思っております。

次は、最終目標の1通を目指し、がんばる所存です。
それでは本当にお世話になりました。

(返信)

メール有難うございます。大変恐縮です。
第一級陸上無線技術士完全合格おめでとうございます。
拙い「ねらいどろ」の資料でしたが、少しはお役に立つことができ大変うれしく思っています。元気をいただきました。
この合格により第一級総合無線通信士の工学科目が免除ですので、頑張ってください。
なお、3月いっぱい免許申請すれば、従来の二つ折りの免許証になると思います。ある受験生の方は、今までの二つ折りの免許証が欲しいということで、今回完全合格したいと言っていました。

無線従事者国家試験研究室

Sさん(一陸技受験)(2010年6月下旬ブログにコメント受付)

一陸技受験者です。昨年このブログの存在に気づき、早速参考にさせていただきましたところ、苦手な工学Bに科目合格しました。ねらいどろの問題だけで合格できとても喜んでます。

今度の7月の試験で最終科目の工学Aを受験予定です。一通り目を通しているところですが、記述式の頃と違い問題数の多さに苦戦しております。

一陸技の国家試験まで一ヶ月を切り、受験票も届きました。

7月期試験のねらいどろを心待ちにしております。勉強の計画を練り直すためにも、一陸技ねらいどろの完成がいつ頃になるかの目処が分かると助かるのですが・・・

ねらいどろの早い掲載を心待ちにしております。よろしくお祈りします!!!

(返信)

メール有難うございます。一陸技A等のねらいどろは、データ上は整っているのです

が、ブログ上への掲載が遅れております。もうしばらくお待ちくださいね。すみません。

無線従事者国家試験研究室

Tさん（一陸技受験）（2010年10月上旬メール受付）

いつもお世話になっております。

「無線従事者国家試験のねらいどころ」として、第一級陸上無線技術士の「無線工学の基礎」、「無線工学A」、「無線工学B」の3科目について購入いたしました。

大変遅くなりましたが、2010年1月の「第一級陸上無線技術士」試験結果の報告です。

みごと、第一級陸上無線技術士に1回の受験で合格致しました。

受験勉強期間は、わずか5ヶ月弱です。

夢を見ているようです。本当に感激しています。

参考までに自己採点では、

- ・無線工学の基礎 : 98/125 点
- ・無線工学 A : 99/125 点
- ・無線工学 B : 83/125 点
- ・無線法規 : 94/100 点

でした。

ご指導ありがとうございました。

(返信)

メールをいただき大変恐縮です。有難うございます。

「第一級陸上無線技術士」完全合格おめでとうございます。それも1回の受験とは凄いです。

拙い「ねらいどころ」でしたが、お役に立ててよかったです。

元気をもらいました。

これからも種々の面で近況等、ご連絡いただければ幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Uさん（一陸技受験）（2010年11月下旬メール受付）

はじめまして

財団法人 電気通信振興会「電波受験界」を定期購読している者です。

平成22年12月号に掲載されていた記事「無線従事者国家試験のねらいどころ」に興味をもち閲覧させて頂きました。無線技術者の上級の取得を目指しています。

歳と共に記憶力低下が、極端に目立ち始めているのが現状です。

平成23年1月期用の第一級陸上無線技術士「無線工学B」ねらいどころのwebアップ予

定はいつ頃の予定でしょうか？

(返信)

メール有難うございます。

目標を持って頑張っていることに大変共鳴いたします。

「ねらいどころ」の資料は、少なからず合格に向けてお役に立つものと考えています。

なお、平成23年1月期の第一級陸上無線技術士「無線工学B」のねらいどころは、数日以内にご購入できるように準備いたします。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Vさん（二陸技受験）（2012年1月下旬メール受付）

無線工学AとBのねらいどころを購入して先週2陸技を受験してきました。

特に無線工学Bは大半がねらいどころに含まれており落ち着いて解答することができました。ありがとうございました。

7月はできれば1陸技のAとBに挑戦したいと考えており、再びねらいどころにお世話になると思いますのでよろしくお願い致します。

(返信)

メールをいただき大変恐縮です。ありがとうございます。

「ねらいどころ」お役に立ててよかったです。

1陸技についてもこちらこそどうぞよろしくお願いいたします。

無線従事者国家試験研究室

Wさん（一陸技受験）（2012年5月中旬メール受付）

大学生です。

航空局は一陸技を持っていても試験等があるのでしょうか？

(返信)

航空局については、一陸技を持っていれば、原則25歳までなら航空管制技術官の募集に申し込むことができます。

採用方法は、書類選考の後、面接試験を実施して採用されるそうです。

詳細は、国土交通省のホームページや電波受験界3月号等を見てください。

無線従事者国家試験研究室

Xさん（一陸特受験）（一陸技受験）（2012年6月下旬メール受付）

以前に一度、お問い合わせいたしました者です。

昨年の10月に1陸特のねらいどころを利用させていただき
無事に合格をさせて頂きました。

御礼申し上げます。

次のステップアップとして、1陸技の受験を考えております。

1陸技を受験するにあたって基礎学力として
最低限復習しておくべき高校数学や高校物理の学習内容を
簡単で結構ですのでご教示頂けないかと、今回メールさせて頂きました。
お忙しいところ、大変申し訳ございませんが
よろしく願いいたします。

（返信）

一陸技については、無線工学の基礎が難しいということをよく聞きます。

内容的には、無線工学Aや無線工学Bが難しいのですが、これらは受験術的には比較的やさしいようです。

したがって、数学的には無線工学の基礎を理解するための基礎力が多少いると考えられます。

一陸技の国家試験の攻略は、ズバリ問題解答集です。過去の問題を中心に勉強されることが近道です。もちろん、問題数がとても多いので「ねらいどころ」で問題を強弱して理解や記憶していくこととなります。（特に試験の前日や試験の朝、試験の昼休みの過ごし方は、大変重要です。）

勉強の順番としては、過去問をやっけていきながら、わからないときに参考書等で勉強していきます。ノートも作成されることも有効です。そのノートには、問題をそのまま書き写す必要はありません。19/7 ⑦ というようにどの問題かわかるようにしておけばよいのです。問題の中にはヒントになりそうなことは書き込まないようにします。それは記憶を連想暗記（問題の中の言葉等から答えを連想して記憶するやり方です。）で行うのがいいと思いますので。

ですから、無線工学の基礎の問題をやっけていくとき、わからない数学的などところが出てきたら、その内容を理解できる範囲の数学の勉強をします。

具体的には、三角関数、微分・積分、対数（常用対数の計算）が重要です。

※電気数学の書籍が参考書としていいと思います。

先ほどの数学の内容以外に、特に電気回路の基本である、記号法（記号演算法）の計算は

とても重要です。この計算は電子回路や電気磁気測定等にも繋がる重要なものです。
コイルの場合、 $j\omega L$ コンデンサの場合、 $1/j\omega C$ だけは、うのみでいいですから記憶しておいてください。

では、拙いコメントですが、少しでも参考になれば幸甚に存じます。

無線従事者国家試験研究室

Yさん（一陸特受験）（2012年6月下旬メール受付）

お陰様で、1陸特初受験で合格できました。

私は、移動体基地局工事の現場代理人をやっていますので、この資格は必須でした。大変“ホッと”しております。

有難う御座いました。

(返信)

メール有難うございます。

拙い「ねらいどころ」でしたが、お役に立ててよかったです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

Zさん（一陸特受験）（2012年12月下旬メール受付）

はじめまして。

今回25年2月期一陸特の試験に初チャレンジするにあたり試験突破の為のヒントを探しているときに偶然このブログに出会いました。業界未経験の上、理解力も乏しい私ですが何としてでも合格を目指しております。

「ねらいどころ」の早期の完成を心待ちしております。

今後ともよろしくお願いいたします。

(返信)

メール有難うございます。

一陸特の受験については、受験雑誌『電波受験界』の傾向表や本研究室の「ねらいどころ」等を参考にして、情報通信振興会の『一陸特 国家試験問題解答集』を徹底的にやれば合格すると思います。この問題解答集の問題は数多くあるので、「ねらいどころ」等で強弱して理解・記憶していきます。特に受験日の前日や受験日の当日の朝の時間を如何に効率的に使うかが、一か月の勉強に匹敵するぐらいの大切な時間です。

なお、そのためにも、インフルエンザの予防接種等の健康管理の対策は最も重要なことです。では、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

無線従事者国家試験研究室

A1 さん（一陸技受験）（2013年2月中旬メール受付）

先日、質問させて頂きました A1 です。

先日の一陸技受験のご報告です。

お陰様で本日、合格通知を受け取ることができました。

法規：72点

工学B：103点（A問題：80、B問題：23）

年明けからの短期間でしたが「ねらいどころ」で愚直に過去問を繰り返し

必要な公式を叩き込んだことで、予想以上の得点で目標達成できました。

曾根（無線従事者国家試験研究室）様のお陰です。心から感謝申し上げます。

私の仕事に一陸技は特に必要なく、今回趣味で受験しました。

ですが元々は放送技術業界を志望していましたので、

せめて10年前にこの資格を取得していれば・・・

そして、過去問の重要性を認識し、今回のように効率的に勉強できていれば・・・

と、過去の自分の無知と努力不足を今更ながら後悔しています。

今回の合格を機に、精々、一陸技に恥じない知識を身につけて行こうと思います。

（電気工学や高周波理論は、今の仕事にも生きますので）

また、ライフワークとしてはいずれ一総通も取得できればと考えています。

重ねて、今回は本当にありがとうございました。

（返信）

A1 様

メールをいただき大変うれしいです。

拙い「ねらいどころ」の資料でしたが、お役に立ててよかったです。

一陸技完全合格おめでとうございます。

後は免許申請をして富士山のホログラムの付いた免許証をもらってくださいね。

頑張って取得した経験は、今後の大きな自信となると思います。

では、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

無線従事者国家試験研究室

B1 さん（二陸技受験）（2013年7月中旬メール受付）

お世話になります。メールで失礼します。二陸技を受験中の者です。

先般、先生の平成24年1月期二陸技（無線工学A）を購入して、SS～B まですべて勉

強して昨日受験しました。かなりの手応えがあり、ねらいどころを購入したかいたった
と思っております。

平成26年1月期には無線工学Bを受験しようとおもってこれから勉強に取りかかろう
とおもっています。

つきましては平成24年1月期二陸技(無線工学B)のねらいどころを購入したいのです
がホームページからリンクされていないのでお便りしました。

過去の予想問題とはわかっていますが、繰り返しの傾向対策に活用したいと思ってお
ります。

もし、過去分を販売して頂けるならうれしいです。

販売していただけるのなら、メールをお願いします。

銀行振込、現金書留ご指定でお支払いしたいと思っております。

ご検討よろしくお願ひいたします。

もちろん個人での利用で自己責任で利用いたします。

(返信)

B1様

メールをいただき大変恐縮です。有難うございます。

メールの件、拝見いたしました。拙い「ねらいどころ」の資料ですが、お役に立ててよ
かったです。

さて、ご依頼の件ですが、二陸技の「ねらいどころ」はブログに明記しております理由に
より、現在作成しておりません。

今のところは、二陸技の「ねらいどころ」の作成予定はないのですが。

ただ、古いもの(平成25年1月期の無線工学Bの「ねらいどころ」ページ)ですが、お
送りいたします。もちろん費用はいりませんので、微力ですがご活用いただければ幸いです。

※無線工学Bは、試験は午後からですので、無線工学Aより、試験当日の朝の勉強時間に
余裕があります。最終の追い込みも十分できますので、有利ですよ。ただし、次回の1月
期はインフルエンザ等の流行時期ですので、体調管理が1科目あると思って対処するこ
とが大事ですね。

では、頑張ってください。

無線従事者国家試験研究室

C1さん(一陸技受験)(2013年11月中旬メール受付)

度々申し訳ありません。

一つ質問があります。

自分は只今船に乗って仕事をしております。正直一陸技の試験までそんなに時間もありませんし余裕もありません。ねらいどころに書かれている重要な部分だけを勉強して合格点は取れますでしょうか。

なお、記憶には多少の自信はあります。

(返信)

C1様

一陸技については、逐次ブログに掲載していきますが、

傾向が少し変わってきているようですね。

それも受験術的にやさしくなっているように一部において感じます。

一陸技の無線工学の基礎について平成26年1月期は、重要度SとAだけでも合格ラインを超えると考えています。

ただ無線工学の基礎は、類似問題が作りやすいので、勉強する問題を十分理解して幅をもたせておくことが重要ですね。

では、がんばってください。

無線従事者国家試験研究室

D1さん（一陸技受験）（2014年6月上旬メール受付）

メールどうもありがとうございました。

質問ですが、電気物理で「特に特に重要」と「ズバリこの問題」が同じ問題ですがOKですか？

(返信)

D1様

メール有難うございます。

ところで、「ねらいどころ」の資料について、資料に次のように明記しておりますように、
「ねらいどころ」で指摘した問題は、その項目の最新出題の問題ですが、その項目のそれまでの問題が、類似問題として出題される可能性がよくあります。必ず最新出題の問題と併せて見ておくことが重要です。

過去の問題は、同じ項目でも数種類あります。ただ、その中でもズバリこの問題と考えられる問題を「ズバリこの問題」としてピックアップしました。

ですから、次に示すように平成24年7月A-1の問題（磁界中の電子の運動）の項目、

これはその項目の中で最新問題を示していますが、先述のとおりその項目のそれまでの問題も見ておく必要があります。ただこの項目の場合は、その中でも「ズバリこの問題」としては、最新問題の問題を考えています。

平成24年7月 A-1 の問題（磁界中の電子の運度）

平成24年7月 A-1 の問題「ズバリこの問題」

では、どうぞよろしく願いいたします。

無線従事者国家試験研究室

E1 さん（電気通信主任技術者試験受験）（2014年10月上旬メール受付）

はじめまして

ホームページを拝見しました。

今度、電気通信主任技術者試験の専門的能力で無線を受験致しますがこの分野については何か参考になる資料などは取り扱っておりますでしょうか？

（返信）

E1 様

大変ご返事が遅くなり申し訳ありません。

さて、当無線従事者国家試験研究室では無線技術士関係を中心としての対策を行っております。電気通信主任技術者試験については、対応しておりません。

なお、電気通信主任技術者試験の専門的能力の無線についてのテキストとしては、恐らくご存知だと思いますが、『電気通信主任技術士 無線テキスト』日本理工出版会が出ているぐらいでしょうか。受験指導雑誌も出てないと思います。

また、『電波受験界』情報通信振興会の6月号と11月号にこの無線について試験問題が出ています（解説は出ていません。）。日本理工出版会の書籍による過去問もありますが、図書館でバックナンバーを閲覧して傾向分析をすることもできそうですね。

因みに大卒等の一定の条件があれば、携帯電話会社等での実務経験を通して、法規だけに合格することで電気通信主任技術者の中の伝送交換主任技術者の資格者証を取得することができますね。

したがって、法規についての参考書はこのような理由から推察していくらかは出ています。

このようなことから一般の受験者には、一陸技等の取得をして、次に電気通信主任技

術者試験はどうかとも考えています。

では、失礼いたします。

無線従事者国家試験研究室

F1さん（一陸特受験）（2015年5月下旬メール受付）

お世話になります。

以前、ご挨拶のメールをしました。F1です。

6月の1陸特の法規および工学のねらいどころ購入させていただきました。

昨日から過去問と合わせて追い込みをかけようと思っています。

で、ご案内にもあります、重要別に紹介されている問題は全て覚える必要があるということでしょうか？特に重要とご案内されているものだけでは不十分でしょうか？

一応、26年2月～27年2月の過去問はやりました。

ご助言頂ければ幸いです

(返信)

F1様

大阪へ出張しておりましたので、ご返事が遅くなり申し訳ありません。

さて、お問い合わせの件ですが、法規については特にSランクとAランクをすれば合格ラインに余裕を持って入ると思います。

また無線工学については、平成26年2月～平成27年2月内のSランクとAランクをすれば何とか合格ラインに入るとは思います。傾向からみても勉強範囲は3年前までは重要かと推察されますので、3年前までのSランクAランクBランクの問題は勉強してください。特に3年前に出題されてそれ以降出題されていない問題は注意してくださいね。

それと、やはり追い込みでは、試験前日と試験当日の朝が最重要です。

試験会場の近いところに宿泊することは、その一つですね。

〔試験中、トイレに行くことは可能ですので、安心してください。実際、3年ぐらい前に試験中にトイレに行った方がいます。その方はその試験期に一陸技を完全合格しました。〕

では、頑張ってくださいね。

無線従事者国家試験研究室

G1さん（二総通または二海通・二陸技受験）（2015年5月下旬メール受付）

昨日初めてホームページを拝見させていただき、突然で失礼ながらご連絡させていただいた次第でございます。G1と申します。

誠に恐れ入りますが、「無線従事者資格の取得について」のご相談に乗って頂けないでしょうか。

（長文となり申し訳ありません。）

私は、現在、2総通か、2海通及び2陸技の取得を目指している者で、これから勉強を始めるところです。

理由としては、海上保安庁の有資格者（無線従事者）に採用されるためであり、採用要件は、2総通取得者か、2海通及び2陸技取得者のいずれかですが、そこで、以下の点についてご質問させて頂きたいのですが、ご教授頂けないでしょうか。

質問 2総通取得を目指すのと、2海通及び2陸技取得をめざすのでは、どちらが取得の可能性が高いとお考えでしょうか。（※目標達成期限は、来年7月採用時までです。）

小職は、無線関係の資格は3陸特（講習により取得）しか所持していませんが、現段階では、2総通の取得を目指しております。次回の9月と来年3月の2回の試験で科目合格し、同年7月の採用を目指しているのですが、特に、電気通信術に大きな不安があります。

独学で勉強しますが、無線工学については、オンライン教育（2陸技コース）を利用しながら参考書を使用して勉強しようと思っております。また、法規、英語、地理についても同様と考えております。※「ねらいどころ」にも大変興味があります。ただし、電気通信術（特にモールス）については、全くイメージはわからないため、かなり不安があります。

近々電鍵を購入するつもりですが、もし、試験対策のため、実技を指導して頂ける場所があるか、または、無線従事者国家試験研究室から直接ご指導頂くことが可能であれば、2総通を目指したいと考えております。

一方、2海通と2陸技について、2海通にはモールスがないので、2総通よりは、難易度が下がるのではと考えておりますが、2陸技の無線工学のレベルが高いと思いますので、来年1月の試験に合格できるのかどうか、今の段階で過去問を見ると不安を感じております。

突然のご連絡で本当に申し訳ございませんが、何とぞお力添え願います。

また、「ねらいどころ」は2総通も作成されているのでしょうか。この点も併せてご教授頂ければ幸いです。

よろしくお願い致します。

(返信)

G1様

一昨日まで大阪へ出張していましたので、ご返事が遅くなり申し訳ありません。

さて、拙い小生の考えですが、回答させていただきます。

海上保安庁への就職において無線従事者枠を考えておられるとのことですね。

恐らく今年の11月下旬ごろに受験され、正式採用は来年7月の初めのように推察します。

ところで、受験に際しての資格取得の件ですが、ポイントは受験勉強期間かと思えます。特に2総通は、1総通と同じ速さのモールス信号の試験があります。小生の経験から考えるとまったく初めてからチャレンジする場合、相当な時間がかかると推察します。[昔は1総通のスピードが今より速かったのですが、1総通の場合、毎日の授業でモールスの時間があっても3～4年はかかりました。それもタイプライターで受信しました。送信は現在でも自動電鍵(エレキー)を使えるのではと思いますが。送信を通常の縦振り電鍵で練習する場合は、印字機というものを使ってトンとツの長さ等のチェックをする必要があるでしょう。]

したがって、時間と労力等がかかりますね。

(因みに平成26年度の資料によれば、2総通は科目合格はもちろんありますので、実質の合格率は単なるデータ1.2%よりは高いですが、そう言っても他とは格段に厳しい90名の申請者で完全合格したのは1名です。なかでも、電気通信術は25名受けて1名しか合格していません。)

2海通は、1999年2月1日からのGMDSS [Global Maritime Distress and Safety System: 海上における遭難及び安全に関する世界的な制度、の登場で生まれた資格です。モールス信号を使わないので、受験しやすいと思います。ただ平成26年度の資料によれば、受験者は20名で少ないですね。完全合格は4名です。また電気通信術は4名受けて3名合格しています。

2陸技は、平成26年度の資料によれば、完全合格率25.6%で376名合格しています。なお、1陸技や2陸技を完全合格するまでの受験回数は、通常は3回程度でしょうか。一般に早い人で2回かな。今までに1回で合格した人は、小生が知っているのでは、1陸技で2人、2陸技で1名ですね。

なお、受験者数等のデータは、年2回の試験なので、1回は半数程度と考えるべきですね。また完全合格率は、初めて受ける人が1回で完全合格するのはとても少ない%

で、しかし、科目合格をしながら最終の科目を受けると非常に高い合格の%になるので、これらの平均と考えるといいですね。ですから完全合格率が低くても気にしないでください。

ただ重視したいのは、1陸技や2陸技は時間をかけてやれば、必ず完全合格できる資格というのは、共通しています。既出問題や類似問題が多く出題されますから、過去問をじっくりやれば必ず合格します。もちろん電気回路のような基礎的な知識は大事ですね。受験指導の側面から見て、受からない人は、初めから受けない人か、途中であきらめる人ですね。（今回7月期、2陸技を受験申請してないのですか？）

したがって、2陸技を完全合格すれば、2海通の工学科目はすべて免除になりますから、2海通の他の科目を科目合格を目指してみてもいいでしょうか。2陸技は1回で受かるのは難しいかもしれませんが、もし来年7月の初めに完全合格していない場合、海上保安庁の採用資料では、延期のようなただし書きがあるようですね。なお、一般に就職面而言えば、年齢的な面もありますが1陸技や2陸技が有利なところが多いですね。

「ねらいどころ」は、受験状況から1陸技を中心に行っています。大変申し訳ないですが2陸技や2総通や2海通は行っていません。

では、失礼いたします。

無線従事者国家試験研究室

メール等有難うございました。今後も逐次ご紹介いたします。（2015年 5月30日）